

平成29年第9回教育委員会定例会
(5月16日開会)

台東区教育委員会

○日 時 平成29年5月16日(火) 午後2時12分から午後2時53分

○場 所 教育委員会室

○出席委員

| | |
|----------|---------|
| 教 育 長 | 矢 下 薫 |
| 教育長職務代理者 | 末 廣 照 純 |
| 委 員 | 樋 口 清 秀 |
| 委 員 | 高 森 大 乗 |
| 委 員 | 垣 内 恵美子 |

○説明のために出席した事務局職員

| | |
|------------------------|---------|
| 事 務 局 次 長 | 田 中 充 |
| 庶務課長兼事務局副参事事務取扱 | 事務局参事 |
| | 岡 田 和 平 |
| 学 務 課 長 | 山 田 安 宏 |
| 児 童 保 育 課 長 | 佐々木 洋 人 |
| 放課後対策担当課長 | 福 田 兼 一 |
| 指 導 課 長 | 屋 代 弘 一 |
| 教育改革担当課長 (兼 教育支援館長) | 小 柴 憲 一 |
| 生涯学習課長 | 小 川 信 彦 |
| スポーツ振興課長 | 廣 部 正 明 |
| 中央図書館長 | 齊 藤 明 美 |

○日 程

日程第1 教育長報告

1 協議事項

(1) 指導課

ア 全国小学校道徳教育研究会が実施する事業に対する後援について

(2) 生涯学習課

イ 台東区ボーイスカウトガールスカウト協議会が実施する事業に対する後援について

2 報告事項

(1) 庶務課

ア 区民文教委員会における報告事項等について

イ 後援名義の使用について

(2) 教育支援館

ウ 平成29年度教科書展示会について

(3) 中央図書館

エ 台東区立図書館一部業務委託の事業者募集について

3 6月の行事予定について

4 その他

午後2時12分 開会

○矢下教育長 ただいまから、平成29年第9回台東区教育委員会定例会を開会いたします。

本日の会議録署名委員は、末廣委員にお願いをいたします。

それでは、会議に入ります。この際、あらかじめ会議時間の延長をいたしておきます。

ここで、傍聴についてお諮りいたします。

本日の教育委員会に提出される傍聴願については、これより許可いたしたいと思っております。これにご異議ございませんか。

(異議なし)

○矢下教育長 ご異議ございませんので、傍聴については許可いたします。

〈日程第1 教育長報告〉

1 協議事項

(1) 指導課 ア

○矢下教育長 それでは、日程第1、教育長報告に入ります。

まず、協議事項を議題といたします。

事務局各課ごとに説明をお願いします。

はじめに、指導課のアについて、指導課長、説明をお願いいたします。

○指導課長 私より、全国小学校道徳教育研究会が実施する事業に対する後援についてご説明申し上げます。資料1をご覧ください。

来る平成29年8月3日から4日にかけて、全国小学校道徳教育研究会が主催する「第37回夏季中央研修講座」が台東区民会館にて開催されます。

本講座は、小学校道徳教育の指導力の向上を目指し、優れた指導者を育成することを目的に開催されます。主催団体の全国小学校道徳教育研究会は、全国の小学校における道徳教育研究の交流、情報の交換などによって、道徳の推進と充実を図るために、研究並びに調査を進める研究会でございます。歴史も古く、この夏季中央研修講座も今年度で37回目を迎えます。

本区において夏季中央研修講座が開催されることで、道徳の教科化へ向けた実践的な取り組みや、新たな指導法を学ぶ機会となり、本区にとっても道徳教育の推進につながるものと考えます。

当日の参加予定者ですが、全国の小学校教員を中心に約150名を見込んでおります。参加費は資料代、講師謝礼等として5,000円となっております。

また、後援につきましては、台東区教育委員会以外に、文部科学省と東京都教育委員会にも申請をしており、これらにつきましても、例年、承認されております。

この度、事務局より、本講座を開催するに当たり、台東区教育委員会の後援名義申請がございました。

本内容について、ご審議の上、可決賜りますようよろしくお願いいたします。

以上でございます。

○矢下教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質問はございませんか。

○垣内委員 せっかく全国から教育指導のリーダの先生方がお集まりになるので、台東区に関する情報提供というのも当然されると理解してよろしいでしょうか。

例えば、上野の文化ゾーンなど、様々な体験をする機会もあるかと思いますが、その辺りの情報提供はどうされるのか教えてください。

○指導課長 本日、参加者につきましては、先日の富士小学校での全国大会と同様に、台東区の文化等についての案内チラシ等の配布を行い、ご案内したいと考えております。

○末廣委員 この研究会が本区で開かれるということで、本区の教員には特別に枠が設けられているのですか。

○指導課長 結論から申し上げますと、特に枠は設けられておりません。また、参加費が無料にする等の優遇もございません。この全国道徳研究会は、全国的にも、大変、活動は充実しております、特に全国からの参加者も多く、特別枠というものは、新設しないと伺っております。

ただ、本区で行われる大会でもありますので、前年度の金子校長先生もいらっしゃいますので、区内の小学校に対して、周知については進めていただきたいと考えております。

○垣内委員 そうですね。150人という枠が掲げられていますけれども、なるべく多くの先生が出られるといいのではないかと思います。

○高森委員 今、垣内委員がご質問されたことと関連して、ぜひ、こころざし教育のPRを、もう一度していただければと思います。この前、富士小学校の道徳研究発表大会に行ったのですが、あまり話題に上がっていなかったのかなという気がしましたので、差し支えがなければ、お願いいたします。

○樋口委員 それは2日目の分科会で、本区のどなたかが推薦してやられたほうがいい。教育委員会でやるのではなくて、ここに参加をする形で。

○高森委員 受付や休憩所に副読本等が置いてあるだけでも、大分違うかなと思います。

○指導課長 全国から先生方が集まっての提案等ということになってまいりますので、提案者等の調整を現在進めているところと聞いております。仮に台東区ということになれば、またこころざし教育等についても当然話題に上げていただくようお願いしたいと考えております。

○高森委員 私は、そこまでは要求していなくて、パンフレット、チラシ等を置いておくブースを一つ設置していただいて、こころざし教育ブースみたいものがあればいいかなと、そのぐらいの気持ちでございましたので、別に先生方にそれを強要するというものではありません。

○矢下教育長 よろしいですか。

(なし)

○矢下教育長 それでは、指導課のアについては、協議どおり決定いたしたいと思います。これにご異議ございませんか。

(異議なし)

○矢下教育長 ご異議ございませんので、協議どおり決定いたしました。

(2) 生涯学習課 イ

○矢下教育長 次に、生涯学習課のイについて、生涯学習課長、説明をお願いします。

○生涯学習課長 それでは、台東区ボーイスカウトガールスカウト協議会が実施いたします、台東区スカウトフェスティバルに対する教育委員会の後援につきましてご説明をさせていただきます。資料2をご覧ください。

台東区ボーイスカウトガールスカウト協議会は、小学校入学前から大学生年代までの少年・少女を対象としまして、野外活動、奉仕活動、仲間との触れ合いを通して、心身ともに健全な青少年を育成することを目標としてございます。

本企画は、平成29年5月に上野公園内におきまして、台東区発足70周年を記念して、上野公園内の名所・旧跡・世界遺産などの存在を紹介し、郷土愛を育むとともに、日ごろの活動内容の成果を発揮して親睦を深め、さらにスカウト活動をPRすることを目的としてございます。

区民の生涯学習の振興に寄与するという観点から、後援につきましてはよろしくご協議の上、ご許可いただきますようお願い申し上げます。

簡単ではございますが、ご説明は以上でございます。

○矢下教育長 ただいまの説明につきまして、何かご質問はございませんか。

○高森委員 これまでは、どこでフェスティバルは開催されていたのでしょうか。参考までに伺いたいのですが。

○生涯学習課長 例年は、浅草の隅田公園の水門前広場を主に使っていたと伺っております。

○高森委員 リバーサイドではなくてですか。

○矢下教育長 リバーサイドではなく、屋外の水門前の広場のところを使っていたと聞いております。

○矢下教育長 よろしいですか。

(なし)

○矢下教育長 それでは、生涯学習課のイについては、協議どおり決定いたしたいと思います。これにご異議ございませんか。

(異議なし)

○矢下教育長 ご異議ございませんので、協議どおり決定いたしました。

2 報告事項

(1) 庶務課 アイ

○矢下教育長 次に、報告事項を議題といたします。

事務局各課ごとに報告をお願いします。

はじめに、庶務課のア及びイについて、庶務課長、報告をお願いします。

○庶務課長 それではまず、4月の区民文教委員会における教育委員会に関する審議等概要について、資料3でご説明をいたします。

4月の区民文教委員会は、4月25日に開催をされました。議案はございませんでした。

報告事項として1件、平成29年度小・中学校並びに幼稚園及び認定こども園の学級編制について、学務課長から報告をいたしました。

委員から出された主な質問や意見等でございますが、まず、人口ビジョンを見ても子供の数が増えており、子供の増減で環境を整えるのは大変難しいことだと思っている。今後の方向性についてどう考えているのかというご質問をいただきました。

これに対して、学校ごとに児童や施設の状況が違っている。個別の状況を勘案しながら具体的な対応策を実施していくと答弁しております。

また、下から二つ目の質問でございますけれども、子供が増えているという認識でいたが、中学校を見ると減り続けている。この傾向をどう考えているのかという質問をいただきました。

これに対しましては、私立中学校への進学も一定程度ある。保護者、生徒自身の判断で多少増減があるのはやむを得ないと考えている。学校の特色、魅力ある活動に取り組みながら学校間で切磋琢磨している状況であるので様子を見ていきたいと答弁をしております。

裏面をご覧ください。

上野中学校では、2年生と比べると1年生が2倍ぐらいに増えている。桜橋中学校では半分ぐらいに減っている。このような大幅な増減の要因をどう考えているのかという質問がございました。

基本的に、各学校が独自の学校運営を進めていく中での選択ということなので、明確にこの要素がと特定することは難しい。上野中学校は、大規模改修の工事中ということもありながらのこういった結果であるので、学校の努力が生徒・保護者に伝わった結果だと思いと答弁しております。

また、選択制については、実施から14、5年経過するが、生徒数が2倍や半分になるような極端な増減は、学校運営上好ましいことではないので再検討を要望するというご意見をいただきました。

庶務課のアについてご説明は以上でございます。

○庶務課長 次に、教育委員会の後援名義使用についてご説明をいたします。資料4をご覧ください。

今回は、庶務課の取扱分が1件、生涯学習課取扱分が1件でございます。

まず、庶務課取扱分でございますが、台東区選挙管理委員会が本年5月から来年3月にかけて行います、「平成29年度明るい選挙啓発ポスターコンクール」でございます。

次に、生涯学習課取扱分でございますが、学校法人上野学園が、やはり本年5月から来年3月まで、全11回開催をいたします「ランチタイム・コンサート」となっております。

2件とも継続案件でございます。内容は資料に記載のとおりとなっております。

よろしく願いいたします。

○矢下教育長 ただいまの報告につきまして、まずは報告事項、庶務課のアについて何かご質問はございませんか。

○樋口委員 進学者数が大幅に増減するのは、学校運営上、好ましくないのは当然だと思います。教育委員会として、この制度云々というよりも、生徒の進学の流れについては、データを把握しておくべきだろうと思います。どういう流れでこうなったのかというのは、把握されているほうが良いと思いますので、仕事がまた増えますが、よろしく願いします。

○学務課長 樋口委員のご指摘のとおりで、これまでもこの私立中学校を中心にした進学というところにつきましても、一定程度のデータは蓄積してきているところでございます。どこまで必要かというところもございしますが、その辺りについても今後の対策を考えるための材料として集めていきたいと考えておりますので、検討させていただきます。

○末廣委員 この選択制については、一部の区民だと思いますが、大分、批判的な意見が出る場合があるのですが、区としては、選択制をこれからも維持していくという考えでよろしいのですよね。

○学務課長 現時点で、この制度につきまして、廃止をしてみようという考え方は持っておりません。いろいろとご指摘をいただく課題等もございしますが、制度の意義も十分にあると考えておりますので、よりよいものにしていけるように考えていきたいと思っております。

○高森委員 確かに、増減がかなりあるということで、その振れ幅の大きいところは2倍、あるいは半分ということなのでしょうけれども、当然、必ず理由があってそうなっていると思います。ただ、特定の学校にアンケートをとるなど、そういうことはできませんので、この理由をリサーチすることは非常に難しいと思います。ただ恐らく、保護者間ではいろいろな情報を、噂のようなものもあるかもしれませんが、それぞれ共有していて、何かの理由で偏った形になっていると思うのですね。そういった情報を、できるだけ敏感に察知して、教育委員会も把握をしておいて、もし、生徒数が減った学校に何か課題があるようであれば、こちらから指導していく必要があるのかなという気はいたします。

それぞれの学校の良さを前面に出して、できるだけバランスよく、希望できるのであれば、地域の子供たちがその学校に行けるようになるのが本当はいいのでしょうけれども、選択制ですから、そこまでは縛りかける必要はないと思います。ただ、できるだけ偏らないようなアドバイスを、教育委員会側から学校にしていく必要もあるのかなという気は

します。今までもなされてきたと思いますが、その辺りについてはどうなのでしょう。

○学務課長 確かに、いろいろな情報が流れていたりですとか、その情報が選択の一つの大きな判断材料になるといった事情も、いろいろあるというのは、学務課としてもわかっているところがございます。

ただやはり、どうしても情報としてとり切れない、集め切れないところもございまして、実際にそれがあるところで、その情報自体をどうにかするというのもなかなか難しいところがあります。

ですので、こちらといたしましては、学校と協力をしながら、学校の公開期間ですとか、毎年出しておりますけれども、学校案内冊子ですとか、その他いろいろところで学校の魅力、それから、正しいといいますか実態としての学校の実情というのをきちんとお伝えできるようにという、そういった努力はしていきたいと思っておりますし、一度、学校ともその辺りのことについて、何かいい方法があれば、ともにやれるものがあればやっていきたいと考えております。

○樋口委員 仮設ですけれども、もし小学校の卒業生が全員、区立の中学校に行った場合に、枠は一応確保されているのですか。

○学務課長 正直、本当にぎりぎりか、場合によっては、その年の人数にもよりますけれども、若干、ハードの面では入り切らない可能性はあるかなと思います。

○末廣委員 私が教育委員になって6、7年になりますが、その間だけでも、中学校の生徒数の推移を見ていくと、極端に減ることが随分ありますよね。それはそのときの様々な事情でそうなっていると思いますが、少なくなった学校がその後、生徒数を増やそうとしている努力というのが、すごく感じられるんですよね。たまたまこの資料に、上野中学校が出ていますが、上野中学校は極端に減っていましたが、それを回復しようと校長先生をはじめ、先生方と地域の方々、PTAが一緒になって努力した。その結果がようやくこの4月に出たのではないかという気がするのです。

ですから、やはり、それぞれの学校が増やすにはどうしたらいいかという、そういう努力をするのが一番いいと思うのですね。それが保護者とか地域に、逆に認められることにつながっていくと、見ているとそういう感じがします。

たまたま何かの事情で減ったけれども、今度は自分たちが頑張って、また元の勢いのある中学校にしようという、そういう熱意があるということは、非常にいいことだと思うのですね。

ですから、本区はそういう良さが全体的にはあると思いますので、あまり神経質にならなくていいのではないかなと私は思います。

○垣内委員 一つ質問ですが、今、末廣委員がおっしゃったことと若干似ている内容になるのですが、相当、学生の流動性が高くて、いろいろ移動がありますが、それはある種、競争原理が働いているということだと思いますけれども、一方で制度として見たときに、このぶれ幅というのでしょうか、14、5年の経年変化を見たときに、最近、少しずつづ

れ幅が大きくなっているのか、それとも少し小さくなって、制度として持続できる状況なのか、あるいは破綻に向かって、ものすごくぶれ幅が大きくなっているのか。その辺りは、いかがでしょうか。

○学務課長 正確な増減の数字は手元にございませんが、実際に過去にも、それなりに選択者数がどっと増えた。でも、その後、少し減ってしまったという波はありましたし、今回、区民文教委員会で委員からご指摘があったところにつきましても、その辺りをご質問されたというところだろうと思います。

ただその中で、学級編制上は、例えば単学級まで落ち込んでしまうとか、そういったところまでは行かずに、何とか学校として、学校の規模というのを一定程度保った状態ではここまで来ておりますので、今のところどうしてもこの制度をやることによって学校が立ち行かなくなるというところまでは、来ていないかと考えております。

ただ今後、こういった傾向が強まってしまうのかどうかといったところは、注視していかなければいけないと考えておりますので、教育委員会としてできることを、やっていきたいと考えております。

○高森委員 中学校では、高校への進学に当たっては、先生方が進路指導をなさると思いますが、小学校の現場ではどのような形をとっていますでしょうか。

○指導課長 小学校においては、特に進学についての進路指導というのは、特化して行っておりません。

○高森委員 どう思われますか。必要ないですか。

○樋口委員 某小学校で、家庭学級が行われた際に、その学校の校長と話した内容のことですが、やはり小学校の先生も、子供たちを送り出すわけですから、しっかりチェックしたほうがいいかと思えます。

子供が受験勉強を始めると、絶対に私立学校等に行かないとメンツが立たないので、どこでもいいから私立の学校に入るんだということになり、どういった私立学校なのかについて、全部、親任せで行っているというところがある。

私立には私立のよさがあるのですが、逆にある一定のところでは、進路が決められてしまう可能性もある。そうすると、せっかくある能力も、そこでとまってしまう可能性もあるので、子供に合う学校を選ばせることが重要だと思えますが、しっかり子供を説得、あるいは保護者を説得するのが教師ではないかと思えます。

さきほど申し上げた、8割が私立学校へ進学していた頃には、そういうことをやっていたと言っていました。保護者ないしは子供側から相談を受ければ、先生方も相談に乗るようですが、公式には進路指導はやっていないというのは、指導課長の言うとおりで思えます。

○高森委員 小学校の先生方が進路指導を行うのは、難しいのでしょうか。

○指導課長 これは私見であります。やはり、公立小学校に通う子供たちに、私立への詳細な進路指導というのは、事実上、公立小学校も教員もそれだけの情報を持ち得ておら

ず、経験もないので、今の段階では難しいものではないかなと考えています。

○高森委員 例えば、私立の中学校を紹介するとかそういうことではなくて、逆に区内の公立中学校の良さを伝えていく。当然、各中学校では広報をやっているのでしょうけれども、小学校側も、中学校との接続をしっかりとはかっていたきながら、各中学校の特色などについての情報を、小学校の先生方、あるいは校長、副校長先生から発信できるような仕組みがあるといいかなと思います。

○垣内委員 それは、小学校がある学区の近隣の中学校だけではなくて、台東区全部のことですか。

○高森委員 選択制になっていますから、平等にしなければいけませんからね。

○垣内委員 それは、既に行われていることに加えてということですか。

○高森委員 中学校側からは情報が来るでしょうし、ケーブルテレビでも放送されていますけれども、なかなか小学生はそれを、見る機会がないのかなと思います。やはり、周りの噂だとか、友達同士の噂だとか、親同士のいろいろな判断で決めるところがあったりしますよね。

○垣内委員 それは、各学校がやるというよりは、こういうのもあるということ、何か違うチャンネルで発信するほうが効率的ではないかと思えますけれども。

○高森委員 小学校がやるよりもということですね。

○垣内委員 各校が個別に同じことをやる。同じことというのは、本区ではこういう学校がありますという、同じコンテンツを配信することを各学校がやるというのは、少し効率的ではないのではという思いがいたします。

○高森委員 例えば、中学校のほうから小学校に出前で行って、各学校で合同で何かこう。

○垣内委員 でも、選択制だから。

○指導課長 今、連携の日なども活用して、中学校の学校公開を、特に小学校の6年生、また保護者へ向けてもその開催を案内しておりますので、こういったところをさらに充実を図っていきたいと考えております。

○末廣委員 やはり、進路指導を小学校の先生がやるというのは、先生たちは恐らく、手いっぱいだと思うのです。ですから、そこまでは手が回らないと思いますし、やはり中学校のほうが、今おっしゃったようにPRしていく。うちの学校は、こういういいところがありますというPRを、今テレビでもやっていますよね。そういうことを、小学生のためにやるというほうが、いいのではないかなと思います。

○高森委員 そちらのほうが現実的でしょうね。

○樋口委員 先ほどから、公立の小学校の先生には無理だという話をされていますが、それは確かにそうだろうと思うのですが、そのために私立の進学に関しては、全部、塾の講師が相当な影響力を持つてしまうことになってしまっていて、そうになると塾は何をするかというと、どこかに受かればいいという考え方で指導するので、本人の進学云々よりも、どこか受かるところにということをやるとなる。

これは逆に、せっかく小学校を卒業したけれども、自分の進路は塾の講師が采配してくれたという話になってしまうのです。塾がどこか決めてくれたという話になってくるのが非常に残念だと思いますので、できたら今後、小学校の先生にもお願いしたい。

一番心配するのは、私も家庭教師をやっていたのでわかるのですが、川崎のある小学校から開成中学校に行きますと言って開成中学校に入ったのですが、朝6時前に家を出なければいなくて、子供は大変だったのか、残念ながら通り切れなくて1年で中退してしまいました。

ラッシュアワーの時間に電車に乗って、体力を消耗して行くのかを含めての話だけでも、渋谷を通過して西日暮里まで来るわけですから、すごいエネルギーを使うと思う。だから、私はそれを申し上げている。

そういうことを含めて、親と話をし、中学生としての体力に合うようなところも含めて指導してあげることが、子供のためになるのかなと私は思っているわけで、検討課題でお願いします。

○矢下教育長 中学校の選択制について各委員からご意見をいただいたところですが、いずれの委員から出た話も、みんな根本的なことに絡むことですので、いろいろな折りにふれて、またいろいろな角度から議論させていただくことができると思いますので、よろしくお願いたします。

○矢下教育長 次に報告事項、庶務課のイについて何かご質問はございませんか。

○垣内委員 生涯学習課取扱分のランチタイム・コンサートについてですが、素晴らしいコンサートだと思いますし、ホールもいいホールなんですけど、ランチタイムって結構、誘客というか集客が難しい部分もありまして、過去の実績はどうなっているのでしょうか。近隣にお住まいの方は、なかなかそれほどたくさんいらっしゃらないような感じもしたものですから、どんな方が来ていらっしゃるのか、どのぐらい入っているのかということについて、もし情報があれば教えてください。

○生涯学習課長 細かい情報はいただいておりません。30分間という時間でございますので、近隣の会社の方などを中心にして、学校の関係者が入っているということだと思います。

○垣内委員 ぜひ、近隣にお住まいの方に来てもらいたいと思いますが、難しいですかね。

わかりました。素晴らしいことだと思うので、ぜひPRしていただければと思います。

○生涯学習課長 検討していきたいと思います。

○矢下教育長 よろしいですか。

(なし)

○矢下教育長 それでは、庶務課のア及びイについては、報告どおり了承願います。

(2) 教育支援館 ウ

○矢下教育長 次に、教育支援館のウについて、教育支援館長、報告をお願いします。

○教育支援館長 では、平成29年度教科書展示会につきまして、資料5によりご説明申し上げます。

教科書の展示会は、教科書の発行に関する臨時措置法及び東京都教科書展示会実施要綱により実施されるもので、毎年行う法定展示会と教科書採択の年に行われる特別展示会がございます。今年度は、前回の定例会で指導課長からご報告しましたとおり、来年度から使用の小学校特別の教科、道徳の教科書採択の年となりますので、法令・要綱等に基づき特別展示会、法定展示会ともに実施することになります。

それでは、項番1でございます。展示する教科書は、来年度、すなわち平成30年度に使用される小学校用教科書目録及び中学校用教科書目録に登載されている教科書でございます。

項番2、展示期間でございます。(1)の特別展示会は6月3日～6月15日までで、日曜日・6月10日土曜日を除く10日間。また、(2)の法定展示会は6月16日から7月3日までで、日曜日・6月24日土曜日を除く14日間でございます。

なお、法定展示会、特別展示会とも展示内容は同一でございます。

項番3の展示時間、項番4の展示場所については、記載のとおりでございます。

本展示会の開催につきましては、広報たいとうの5月号、生涯学習センターニュース6月号及び区の公式ホームページにおいて周知いたします。

報告は以上でございます。

○矢下教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質問はございませんか。

(なし)

○矢下教育長 それでは、教育支援館のウについては、報告どおり了承をお願いします。

(3) 中央図書館 エ

○矢下教育長 次に、中央図書館のエについて、中央図書館長、報告をお願いします。

○中央図書館長 それでは、台東区立図書館一部業務委託の事業者募集についてご報告させていただきます。資料6をご覧ください。

現在の台東区立図書館一部業務委託事業者との契約が、平成30年3月31日で終了することに伴い、平成30年4月1日からの委託事業者を選定するものでございます。

項番1、選定の方法でございます。公募型プロポーザル方式で行います。台東区プロポーザル方式実施に関するガイドライン、東京都台東区立図書館一部業務委託事業者選定委員会設置要綱に基づき選定委員会を設置いたします。

項番2、委託対象業務でございます。①図書資料の貸出・返却や、図書館の利用案内などのカウンター業務、②図書資料の整理・配架に関する業務などでございます。

項番3、委託期間でございます。平成30年4月1日から平成31年3月31日までの1年間でございます。ただし、業務実績が優秀な場合は、平成32年度まで継続して単年度の契約を可

能としてございます。

項番4、主なスケジュールでございます。今月22日に募集要項の公表及び配布を開始いたします。第一次審査を6月下旬から7月上旬に、第二次審査を8月上旬に行い、優先交渉権者を決定してまいります。

その他は記載のとおりでございます。

簡単ではございますが、説明は以上でございます。

○矢下教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質問はございませんか。

(なし)

○矢下教育長 それでは、中央図書館のエについては、報告どおり了承をお願いいたします。

3 6月の行事予定について

○矢下教育長 次に、6月の行事予定について、庶務課長、報告をお願いします。

○庶務課長 それでは、資料7をご覧ください。

6月の教育委員会定例会は、15日と27日を予定しております。

そのほか、16日には歯の優良児童・生徒表彰式、25日には区民体育祭水泳大会、30日にはラジオ対象指導者講習会修了式を予定しております。

それぞれご出席、ご挨拶のほうをよろしくお願いいたします。

また、その他といたしまして、6月18日に柳北スポーツプラザで、台東区チャレンジフィジカルテストが行われます。

以上です。

○矢下教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質問はございませんか。

(なし)

○矢下教育長 それでは、行事予定については、報告どおり了承をお願いいたします。

3 その他

○矢下教育長 その他、何かございますでしょうか。

(なし)

○矢下教育長 以上をもって本日予定された議事日程は、全て終了いたしました。

これをもちまして、本日の定例会を閉じ、散会いたします。

午後2時53分 閉会